

第88回秋田県種苗交換会

—— 市の協賛体制確立さる ——

第88回、秋田県種苗交換会が、18年ぶりに大館市で開催されます。

開催期間は11月11日から17日までの7日間、会場には市民体育館を主会場に、城南小学校、桂城小学校、桂高等学校、長木川河川布地の各会場があてられます。

会期中は農産物の陳列、農機具の展示、談話会をはじめ、NHK秋田放送局、秋田放送などが協賛する東北六県民謡大会やのどじまん大会などの演芸もたくさん盛りこまれ、収穫の秋にふさわしい一大祭典がくり広げられようとしています。

市でも、全国的に注目をあびる種苗交換会の開催地として、りっぱな交換会にしようと、いまから協賛会をつくり、いろいろな準備を進めております。

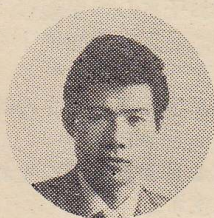
協賛会は、市役所、農業協同組合、共済組合、工会議所で構成し、市長を協賛会長とし、38名の役員を中心に協賛体制の確立を期しています。

また、このため特別に協賛事務局を設置し、局長に虹川助役次長に富樫財政課長を選任しております。

協賛組織

総務部（部長、佐々木農林課長以下26名）**宣伝輸送部**（部長、田村商工課長以下25名）**演芸部**（部長、芳賀公民館長以下5名）**救護衛生部**（部長、佐々木厚生課長以下6名）などの組織が確立され、由来ある種苗交換会を成功させるため、全力を傾注することになっています。

伊藤宏さん（ブラジル在住）の花嫁はどこに？



ブラジルのサンパウロに住む、市内釈迦内向羽立出身の伊藤宏さん(28)才は、花嫁をさがしています。

伊藤宏さんといえば、昭和37年6月、長い間の念願であった南米行を決心し、単身で南米移住した青年として当時の新聞紙上ににぎわした人でもあります。

ります。

移住してから、伊藤さんは四国出身の山本さんが経営する大農場で働かし、もって生れた強健な体力とまじめな性格が大陸でのあらゆる困難を克服し、いまでは、山本さんにも認められ、わずか、3年たらずで1人立ちできるようになっています。

こうした伊藤さんでもいまでは結婚適令期、どうせ花嫁を迎えるなら健康で、美しい大館美人を、ということで、向羽立に住む父親の米吉さんが、いま、花嫁さがしに走りまわっています。

もし、市内の女性の方で、伊藤さんの花嫁として移住を希望される方は、生家の 市内釈迦内向羽立

伊藤米吉まで、ご連絡ください。

結核予防は主婦の手で

第1回県北地区住民検診推進大会開かる



第1回、県北地区住民検診推進大会が10月1日、市民体育館で開催されました。

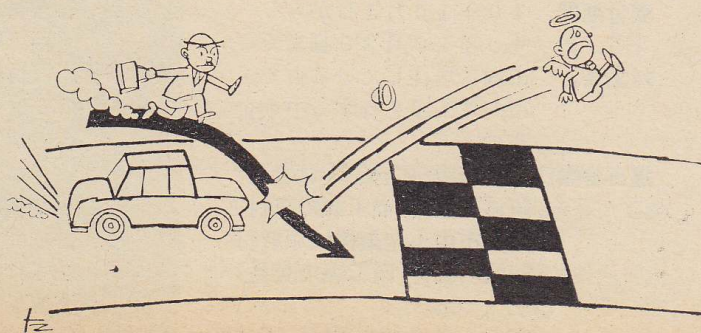
この大会は、いぜんとしてあとを絶たない結核新発生の撲滅をはかるため、一般住民の検診率を100%まで盛り上げようと開かれたものです。

大会には、能代市をはじめ、山本、鹿角の各市町村から約300名が集まり、結核予防についての話が真けんになりました。

また、この日は、結核検診率の向上と結核予防思想の普及に努力された結核予防婦人会の方々への表彰式や、被表彰の方々の体験発表もあって1日中、真けんな討論がかわされ、最後に、大館市の結核予防婦人会長の清水直さんが、「私たちの職場から、家庭から、結核をなくすため、検診率の向上を強力に推進し、秋田県結核撲滅第一次5カ年計画の完全遂行をはかるため、皆んなで協力しあいましょう」と決議し大会は盛大のうちに終わりました。

なお、この大会で晴れの表彰を受けられた団体は次のとおりです。

- ◎ 八幡平村結核予防婦人会
代 表 阿 部 ウ メ さ ん
- ◎ 十和田町結核予防婦人会
代 表 青 山 イ ト さ ん
- ◎ 大館市結核予防婦人会
会 長 高 清 水 直 さ ん
- ◎ 比内町結核予防婦人会
代 表 佐 藤 タ カ さ ん
- ◎ 鷹巣町結核予防婦人会
代 表 二 階 堂 キ ヨ さ ん
- ◎ 藤里町結核予防婦人会
代 表 桂 田 ヨ シ エ さ ん



斜め横断は
天国への近道